

「住環境守れ」全国ネット

住民団体や弁護士ら結成

住環境を守るためにマンションの建築に反対してきた市民団体や、その活動を支援する弁護士らが19日、南区の京都テルサで「景観と住環境を考える全国ネットワーク」(代表者)

日置雅晴(弁護士)を発足させた。

全国各地で活動を続けてきた市民団体が連携し、それぞれの情報や経験を生かしていくとともに、世論の喚起によって乱開発に

歯止めをかけることが目標という。

12都府県の20の市民団体や、弁護士らが参加。日置弁護士は「マンション紛争では市民が孤立して闘いがちだったので、全国ネットワークは有益。今回を機会に、住環境を守ることへの関心が高まってほしい」と話していた。

景観と住環境考える

全国ネットを結成

マンション問題や住環境問題の改善を目指して運動をする住民や弁護士、建築士、研究者が19日、全国代表者会議を京都市で開き、各地の運動をつなげる「景観と住環境を考える全国ネットワーク」を結成しました。

高知市の、はた愛さん(児童遊園の南側)の改正を目指す。とりわけ目前に迫った都市計画法の改正に全力を挙げると、申し合わせを決めました。

代表に日置雅晴(弁護士、十五人の運営委員)が選出されました。

参加の二十団体、四十七人全員が発言。福岡住環境を守る会代表委員の幸田雅弘(弁護士)は「住民運動をする人

たちを最近回ったが、運動にはもっと知恵が必要と感じた。運動のツール、考え方を勉強するためにも、全国的組織が立ち上がり活動できることに期待している」と述べました。

増田昌人さん(47)は「これまでは一方的な建設がまかり通り、住民は孤立しがちだった。活動を通じて情報の共有、提供を積極的に行っていきたい」と話した。

高層マンション巡る紛争で支援

京都で全国組織設立

まちの景観を守ろうと運動する住民のための全国組織「景観と住環境を考える全国ネットワーク」が19日、京都市内で設立された。高層マンション計画などをめぐって紛争が起きたときの相談の受け付けや支援、事例集の出版のほか、より効果的

に景観を守る制度を研究して国などに提言していくという。

1都2府9県の住民や弁護士、建築士、議員ら約50人が設立会議に集まった。呼びかけたのは福岡市で約20年間マンション紛争にかかわってきた石井吉弘さん(61)ら。11月

15、16日、福岡市で全国集會を開く。問い合わせは事務局

朝日 08.7.20 朝刊

京都 08.7.20 朝刊

景観・住環境で全国ネット結成

11月に集會

マンション建設に伴う景観問題や住環境の改善に取り組む各地の市民団体代表が19日、京都市で集會を開き「景観と住環境を考える全国ネットワーク」(東京)を結成した。代表は第二東京弁

護士会の日置雅晴(弁護士)。

沖繩県から参加した増田昌人さん(47)は「これまでは一方的な建設がまかり通り、住民は孤立しがちだった。活動を通じて情報の共有、提供を積極的に行っていきたい」と話した。

都市計画や住宅問題に詳しい弁護士と建築士も参加。十一月には福岡市で全国集會を開き、都市計画法と条例の改善を国や各自治体に働き掛ける方針。

話した。

03・1522200・00422

他、NHKテレビ(全国放送)が RKBテレビ(福岡)が 2日向取材